

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。また、この取扱説明書および保証書は大切に保管してください。

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また、無断転載は固くお断りします。

免責事項(保証内容については保証書面をご参照ください。)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証が全てであり、この保証の外は、明示・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に際し、当社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定される危害」の内容です。

注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定される危害・損害」の内容です。

※1：重傷とは、失明・けがやけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大被害を指します。

図記号表記について  製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。  製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

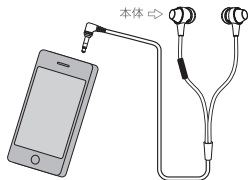
	修理や改造・分解しない 火災、感電、またはけがをする恐れがあります。		運転中はヘッドホンを使用しない 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因となります。	
警告	周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない 歩行中でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏み切りや横断歩道・駅のホーム・車道・工事現場など)での使用は、思わぬ大きな事故の原因となります。		乳幼児の手の届く所へ置かない 飲み込んだり、コードが首に絡まったりすると、窒息などの原因になる恐れがあります。万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診断を受けてください。	
	音量を上げすぎない 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。また、はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。使用する前には、接続する機器の音量を絞っておいてください。			
注意	異常に温度が高くなる所へ置かない 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になります。夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。		肌に合わないと感じた時は使用を中止する 継続使用すると、炎症・かぶれの原因になる場合があります。異常を感じた場合は、医師の診断を受けると同時に、当社「お客様ご相談センター」へご連絡ください。	
	水がかかる場所で使用しない 故障や劣化の原因となります。		ヘッドホンを無理に耳に押し込まない 耳の穴をきずつけることがあります。	

3 使い方

1. イヤーピースを選ぶ



2. 機器と接続する



リモコンの使い方

着信応答の場合

	操作
電話に出る	コントロールボタンを1回押す
電話で話す	マイクで話す
電話を切る	コントロールボタンを1回押す *機器によってはボタンの 長押しが必要な場合があります。

音楽を聴く場合

	操作
曲の一時停止	コントロールボタンを1回押す。
次の曲の頭出し	コントロールボタンを2回押す。
前の曲の頭出し	コントロールボタンを3回押す。

※実際の動作はお使いになるスマート端末により異なる場合があります。

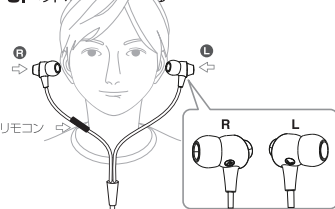
4 取り扱い上のご注意

- 接続する機器の取扱説明書必ずお読みください。
- コードを引っ張ると断線の原因となりますので、ヘッドホンはプラグが本体を持ってお取り扱いください。
- 強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- コードを機器などに巻きつけないでください。断線の原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。故障の原因となります。
- 本体とリモコンの取り扱いはていねいに行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、湿度やほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。
- また、水がかららないようにご注意ください。故障の原因となります。
- 汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

お買い上げ時には、Mサイズのイヤーピースが装着されています。Mサイズが耳に合わない場合は、付属のSサイズまたはLサイズに交換してください。イヤーピースが合っていないと耳の穴を隙間なく密着することができず、音漏れや低音が聴こえない原因になります。音量が小さいと感じた場合は音漏れの可能性があります。

イヤーピースを交換する際は、イヤーピースを本体にしっかりと装着してください。奥までしっかりと装着されていない場合は、イヤーピースがはずれて耳に残ることがあります。耳に残った場合は、耳の奥に押し込まないように注意してください。

3. ヘッドホン



- ① 装着する前に、接続する機器の音量を絞っておいてください。
- ② R表示がある方を右耳に、L表示がある方を左耳に装着してください。L/R表示はヘッドホンの内側に表示されています。
- ③ 装着後、音を聴きながら接続した機器の音量を調整してください。

ヘッドホンを耳から外す際は、コードを引っ張ると断線の原因となりますので、本体を持って丁寧に外してください。

- プラグ部分は時々柔らかい布で拭き取ってください。
- 汚れたままにしておくと、音質が悪くなり、音がとぎれたりすることがあります。
- 音量を上げすぎると音が外に漏れ、まわりの人の迷惑になりますのでご注意ください。
- 乾燥した場所では、静電気がよりに刺激を感じる場合があります。
- イヤーピースは、長期的な使用または保存によって劣化することがあります。
- イヤーピースが汚れた場合は本体から外し、うすめた中性洗剤で手洗いでください。
- 洗浄後は、水気をよくふき取ってからご使用ください。
- 最大入力以上のパワーを加えると音がひずんだり、振動板を破損させることがありますのでご注意ください。

5 困った時は？

音が聴こえない 音が小さい

- ヘッドホンと機器の接続を確認してください。
- ヘッドホンに接続した機器の電源が入っているか確認してください。
- 接続した機器の音量を上げてみてください。
- ヘッドホンをいったん耳から外し装着し直してみてください。
- イヤーピースのサイズを確認してください。

音がひずむ 音かたぎれる ノイズが入る

- 接続した機器の音量を下げてみてください。
- ヘッドホンと機器の接続を確認してください。
- 音源を替えてみてください。

電話に出る/切る ができない

- ヘッドホンとスマートフォンの接続を確認して下さい。

6 仕様

〈一般仕様〉

型式:	密閉ダイナミック型
使用ユニット:	直径9mm
インピーダンス:	16Ω
音圧感度:	97dB/mW
最大入力:	50mW(IEC: 国際電気標準会議)
再生周波数帯域:	20~22,000Hz
コード長:	約1.2m
プラグ:	直径3.5mm 4極ステレオミニプラグ(L型)
質量:	約13g (リモコン・コード含む)
付属品:	イヤーピース(S/M/L 各2個)*Mは本体に装着

〈マイク仕様〉

型式:	コンデンサー型
指向特性:	全指向性
音圧感度:	-42dB(±3dB)
周波数特性:	100~20,000Hz

- 本機の様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

7 保証とアフターサービス

■保証書に関して

保証書は必ずお買い上げ時のレシートと共に大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社電響社

マクセル製品 お客様相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) | FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<https://www.maxell.co.jp>

マクセルお問い合わせ | 検索